

平成23年 部門大会（琉球大学）発表の手引き

シンポジウム，オーガナイズドセッションおよび一般セッション

（発表会場の施設）

- 全ての発表会場（ポスター会場除く）では、プロジェクタ，レーザポインタが用意されています。PCは用意しませんので、発表者ご自身でPCを持参いただき、プロジェクタに接続して発表頂くこととなります。
- プロジェクタへの接続ケーブルは発表会場に用意されています。ご持参頂く必要はありません。ただし、用意されているケーブルのコネクタは標準サイズ(D-Sub15ピン(ミニ))です。特殊サイズのコネクタを持つPCへは接続できません。
- OHPについてはご用意できませんので、予めご了承ください。

（発表方法）

- 講演者は必ず会場入り口付近に設置した用紙に必要事項を記入し、到着をお知らせください。
- シンポジウムおよびオーガナイズドセッションの1件当たりの講演時間はテーマにより異なります。座長が指示する時間配分または会場に掲示された時間に従ってください。
- 一般セッションの講演時間は、予稿のページ数にかかわらず1件あたり20分（質疑応答を含む）です。発表と質疑応答時間の配分は、座長からの指示に従ってください。標準的には発表16分、質疑応答4分です。
- ノートPCを用いる場合、事前に接続投影確認を願います。
- さらに、発表直前には、プレゼンテーションソフトウェア（PowerPoint など）をプレゼンテーションモード状態にしておいて、接続後直ちに発表開始ができるようにしてください。

（投影に手間取り、再ブートするようなことは避けてください）

平成23年 部門大会（琉球大学）発表の手引き

ヤングエンジニアポスターコンペティション(YPC)

- 発表日時は、9月6日(火)12:20～15:00です。
- YPCの発表会場は大学会館と附属図書館（多目的ホール）の二カ所に分かれております。ただし、YPC受付は大学会館のみに設置しております。発表までに余裕を持って受付を行い、発表会場を御確認ください。
- 講演者は指定されたブースにポスターを貼ってください。各ブースにはA0縦用紙（幅：841mm、高さ：1,189mm）を1枚貼るスペースがあります。ポスターはこのスペースに画鋏止めしてください。
- 講演番号は、ホームページ掲載のプログラムまたは受付時に配布のハンディプログラムでご確認ください。
- ポスターの掲示は、全てYPC開始（12:20）までに済ませてください。撤収は全ポスターとも15:00からです。終了後はすみやかにポスターをはずし、画鋏などの文房具と指し棒を元の状態に戻しておいてください。
- 奇数番号の論文と偶数番号の論文を2回に分けて発表します。それぞれ発表時間帯を設けますので、発表者は該当する時間帯には必ずポスターの前にいてください。その他の時間帯には他の発表を聴講するなど有効に利用ください。

奇数番号 発表時間帯 12:20～13:40 （80分間）

偶数番号 発表時間帯 13:40～15:00 （80分間）

- このセッションでの発表はYPC審査員により審査され、発表者の上位約10%を優秀者として論文委員長名で表彰します。審査の基準は、”論文の書き方”，”論文の内容”，”ポスターの出来映え”，”説明の仕方”，”質疑応答の様子”の5項目です。
- ポスターは、字を大きめに、図表を多くし、色を有効に利用した方が見やすく分かりやすいものになります。
- 優秀発表者の発表は、受賞者の氏名を受付付近に掲示しますので、優秀発表賞受賞者であることを確認した旨を受付にお申し出ください。掲示は当日の夕方を予定しておりますが、集計の状況により変更になることがあります。発表時間の変更等も受付付近にて掲示でアナウンスします。優秀賞受賞者は懇親会に無料で招待され（懇親会参加費を払い込み済みの場合は払い戻します）、懇親会の中で表彰状が授与されます。また、IEEE IAS Japan Chapterから副賞が贈呈されます。
- 講演者は論文筆頭者に限ります。論文筆頭者の都合がつかない場合の代理発表者としては、共著者の学生及び同じ研究室の学生まで認めますが、必ずYPC受付に申し出てください。代理発表者(共著者)や過去の受賞者は審査の対象になりません。

平成23年 部門大会（琉球大学）座長の手引き

本大会セッションでは、セッションをより自由かつ活発な質疑・討論が行われるよう、座長の裁量によるセッションマネジメントをお願いいたします。この趣旨から外れない最低限の業務をお知らせいたしますので、ご協力何卒よろしくお願いいたします。

1. セッション開始 20 分前には、セッション会場にお越し頂き、会場係（「スタッフ」バッジを付けている）に到着したことを教えてください。
2. 会場係から、「セッション報告用紙」と「論文発表賞候補者推薦書」（シンポジウム、オーガナイズドセッションを除く）を受け取ってください。
 - 「セッション報告用紙」には、発表者の欠席有無、聴講者のおおよその人数などを記載。
 - 「論文発表賞候補者推薦書」は、35 歳以下の発表者を対象として 1 セッション当たり 1 名の優秀発表者を推薦するものです。大会当日は過去の受賞歴に関係なく、対象発表者に対する推薦書の記述をお願いします。
3. セッション開始前に、発表者および聴講者に向けて、次をアナウンス願います。
 - セッションの割り当て時間（プログラムに掲載）
 - 発表数（プログラムに掲載）
 - 発表時間と質疑応答時間（一般セッションでは、標準的には発表 16 分、質疑応答 4 分、座長の判断で適宜増減していただいて構いません。ただし、質疑応答を入れて、約 20 分/件です。シンポジウムおよびオーガナイズドセッションでは、セッション提案時に予定した時間配分を標準としますが、座長判断で適宜増減していただいて構いません。）
 - ノート PC を立ち上げておいて、直ちに前の発表者と交代できるようにすること
 - プロジェクタの輝度が低い場合は、事前に会場係に「発表時には明かりのオン/オフを」といったことを指示していただいても結構です。
4. セッション終了後、会場係に次の用紙を渡して、座長業務終了となります。
 - セッション報告用紙
 - 論文発表賞候補者推薦書

なお、座長の手引き（本用紙）、プログラム（当該セッション）、「セッション報告用紙」および「論文発表賞候補者推薦書」は発表会場に用意されております。

座長の手腕により、より活発で有意義な質疑・討論が行われ、発表者のみならず聴講者にも有意義な参加となれば幸いです。